

悪沢岳～赤石岳（1）

2011年7月30日～8月2日

Report by 堀

今回の登山は、青木さんと堀にとっては2年前の登山の再挑戦で、吉松さん、細谷さんは初めての挑戦です。前回（2009/7）は、千枚小屋の火事で計画が大きく狂ってしまいましたが、今回は7月20日前後に来た台風6号の豪雨による土砂災害で、入山できるかどうか直前まで心配しました。

静岡市のインフォメーションでは、車の通行は赤石温泉白樺荘までとなっており、一方、樅島ロッヂなどを経営している東海フォレストのHPでは夏季臨時駐車場まで車でOK。その先に路肩崩壊箇所があり、徒步なら渡れそうだが、行政が通行許可を出すかどうか・・・というニュアンスのコメントで、果たして送迎バスの運行がされているのかどうか、肝心のことがはっきりしない。

結局、直前に樅島ロッヂに電話してようやく状況が分かった。要は10メートルほどの崩壊箇所があり、静岡市は通行止めとしているが、徒步で通る分には危険はない。しかしOKが出ていないので、送迎バスを運行しているとおおっぴらには言いにくいということらしい。

これでは肝心の情報が登山者・利用者には伝わらない。そういうわけで結局、ただでさえ人の少ないこのコースは、ハイ・シーズンの週末にも拘らずガラガラ状態でした。

赤石避難小屋は我々だけしか宿泊者がいないという独占状態で、それなりに楽しめましたが、台風6号以降、梅雨明けとは思えない集中豪雨など天候不順な状態が続き、赤石避難小屋以降のコースを断念して下山という結果でした。

では、日を追って今回のコースを振り返ってみます。

朝7時、横浜港北の自宅をクルマで出発。前日、我が家に泊まってくれた青木さんと吉松さんの住む新百合ヶ丘へ。

駅前で吉松さんと、これまた銚子のご自宅から前日、駅前のホテルに宿泊していた細谷さんをピックアップ。7時30分過ぎに出発。

堀の運転で、東名川崎I.Cから東名高速に乗る。

足柄サービスエリアで吉松さんに運転を代ってもらい、清水I.Cで高速を降り、田舎道のコンビニでパンなどを調達。ここからは、再び堀が運転。この先、昼飯を食べるような店もない山道で、おまけに土砂降り。がけ崩れや落石を心配しながら、

それでもどうにか、臨時駐車場の手前にある赤石温泉白樺荘で昼食を摂り、PM1:50駐車場に到着。



臨時駐車場で登山靴に履き替え、
くだんの路肩崩壊箇所を徒步で通過。
幸い雨は上がっている。

徒歩 20 分、畠薙第一ダムで 14 : 30 発の送迎バスに乗る。



送迎バスでは、運転手さんがいろいろ解説してくれ、左の変な果実の付いた植物は「海老殻いちご」というそうで、バスを止めて「食べたい人は食べて」ということなので、一つ食べてみた。酸味が強いが、まあ食べられる。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A8%E3%83%93%E3%82%AC%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%83%81%E3%82%B4>



15：30 樫島ロッヂ着。

さっそく、一風呂浴びて、付近を散策と思ったが、小雨が降っている。

やむを得ず？ロビーで早速、酒宴となる。



5：00 から食堂で夕食。



壁の時計を見ると正確だ。

私の顔が赤いのはアルコールだが、細谷さんは日焼けである。

(細谷さんは飲まない)

今回に備えて、6月29日、吉松、堀と3人で筑波山に登ったが、それ以外に日帰り登山を数回こなしてきたとのこと。

天気予報では、新潟や茨城には大雨警報が出ており、ここ静岡市葵区や飯田市大鹿村では、明日は曇り、明後日は晴れのち曇りぐらいたが、不安定な状況で、信頼性は今一つだ。

酒の残りを始末し、早めに就寝とする。